

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	その他
	事務事業	敬老事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	敬老の日前後に、75歳以上の方に対し、長寿をお祝いする催しを各地区で開催する。また、節目の年（88歳、99歳以上）の方へは祝金を贈呈し、100歳及び市内男女最高齢者の方へは加えて祝品を贈呈する。		
年度概要	88歳、100歳及び男女最高齢者へ祝品を贈呈する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	75歳以上の高齢者等
意図（どのような状態にしたいか）	敬老祝品を贈呈することにより、高齢者の長寿と健康を祝うとともに、高齢者に対する敬意の意を表す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
敬老祝品贈呈件数	件	132	130	125	191	106
敬老祝金支給件数	件	2,570	2,187	2,441	0	6,219

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
敬老事業参加率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	各コミュニティ協議会において敬老事業を実施できたため、目標を達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0%
								35点
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
								目標値

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	64,556	53,745	58,912	16,897
（事業費）	[円]	56,969	46,183	51,324	9,309
（職員人件費）	[円]	7,587	7,562	7,588	7,588

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成30年度に事業の改善を行ったものの、平均寿命の延伸により、祝金対象者が年々増加している。他市や社会の状況を踏まえ、88歳、99歳の敬老祝金の支給は令和2年度より廃止とすることが決定した。88歳には代わって祝品を贈呈することとする。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

高齢者の増加に伴う事業費の増加及び平均寿命の延長に対し、随時事業の見直しを検討する。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者福祉通信機器貸与等事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	福祉電話を一人暮らし高齢者等に貸与し、日常生活の不安の解消を図るとともに、緊急時に押しボタンにより異常事態を関係機関へ通報できる緊急通報装置を貸与する。 なお、緊急通報装置については、平成27年度から29年度までに「あんしん通報サービス事業」へ移行した。		
2年度概要	高齢者福祉電話の貸与		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	65歳以上の一人暮らし高齢者等
意図（どのような状態にしたいか）	一人暮らし高齢者等の孤独感の解消を図るとともに、急病、災害その他緊急時に迅速かつ適切な対応を図ることができる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
高齢者福祉通信機器貸与件数	件	112	93	62	55	136

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	高齢者福祉通信機器貸与率	%	目標値	1.4	1.4	1.4	0.6	1.4
	実績値	1.2	1	0.7				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 福祉電話事業については、平成30年度より新規の受付を廃止している。 (目標達成度)							(達成度) 50.0%
								17点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	6,369	5,928	5,428	5,275
（事業費）	[千円]	2,575	2,147	1,634	1,481
（職員人件費）	[千円]	3,794	3,781	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 本制度の継続利用者だけの対応となっている。利用者は毎年自然減となっている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 高齢者福祉電話事業については、他の取組との関係を整理する中で、平成30年度から新規受付を中止する見直しを行い事業を縮小した。また、事務事業見直しにより令和4年度に廃止と決定したため、今後利用者に処理方法を含めた周知を行う。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	在宅高齢者家族支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	在宅で高齢者を介護している方に、各種サービス（老人短期入所事業・介護見舞金支給事業）の提供をし、高齢者の住み慣れた在宅での生活を支援する。		
	2年度在宅で高齢者を介護している方に、各種サービス（老人短期入所事業・介護見舞金支給事業）の提供をし、高齢者の住み慣れた在宅での生活を支援する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	介護保険要介護認定者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者の保健衛生の向上と家族の介護の軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
在宅寝たきり高齢者等介護見舞金支給人数	人	733	656	686	674	977

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
在宅認定者率（要介護4、5）	%	目標値	55	55	55	55	55
		実績値	51	52.8	54.6		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 施設入所する高齢者は増加したが、介護者に対する日常生活の負担軽減を図り、在宅での生活を支援したため、目標を概ね達成できた。 （目標達成度）			（達成度） 99.3% 34点				
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）			（達成度）				

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[円]	51,133	54,890	55,910	56,955
（事業費）	[円]	43,546	39,766	40,734	41,779
（職員人件費）	[円]	7,587	15,124	15,176	15,176

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
財政課の事務事業見直しにより、在宅寝たきり高齢者等介護見舞金については予算要求については見直しが必要となった。老人短期入所事業は引き続き継続となった。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
令和元年度の事務事業見直しにより、在宅寝たきり高齢者等介護見舞金については検討する必要がある。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	寝たきり高齢者等支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	寝たきり又は認知症等の高齢者に紙おむつを2か月ごとに対象者宅に配布するほか、一人暮らし高齢者等に火災警報器、自動消火器、電磁調理器を給付する。		
2年度概要	寝たきり又は認知症等の高齢者に紙おむつを2か月ごとに対象者宅に配布するほか、一人暮らし高齢者等に火災警報器、自動消火器、電磁調理器を給付する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	寝たきり等の高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	日常生活上の不安を和らげ、在宅での生活を支援する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
紙おむつ給付延件数	件	18,879	19,644	20,414	21,457	20,177

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	施策に対する満足度(市民満足度調査)	%	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	22	26.9	25.4		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 紙おむつ及び日常生活用具の給付により、在宅高齢者の日常生活を支援したため、目標を達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 101.6% 35点
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[千円]	65,138	73,638	81,665	122,081
(事業費)	[千円]	57,551	66,076	74,077	114,493
(職員人件費)	[千円]	7,587	7,562	7,588	7,588

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	---	---------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

紙おむつを利用する人は高齢者の増加とともに自然増となり、高齢者の在宅生活の支援に大きな役割を果たしている。しかし、個人宅への配送料の負担増等から、事業費が年々増大していることや、事務量が増大していることなどから実施方法を見直す必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

紙おむつの給付についての現状調査や給付方法について検討し、高齢者や家族のニーズに合った方法を検討する。また、日常生活用具の給付は、申請件数は減少しており、令和3年度から廃止する方向である。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者と施設の交流事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	委託先の特別養護老人ホームにおいて調理された食事を、社会福祉協議会員や民生委員の協力を得て対象者の家庭に配食する。配食回数は1人当たり年間100食程度（週2回）。				
	委託先の特別養護老人ホームにおいて調理された食事を、社会福祉協議会員や民生委員の協力を得て対象者の家庭に配食する。配食回数は1人当たり年間100食程度（週2回）。 利用者負担金 400円 委託先 22施設				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	65歳以上の一人暮らし高齢者等で食に関する支援が必要である人
意図（どのような状態にしたいか）	委託先の特別養護老人ホーム等の保有する給食機能を地域社会に開放することにより、高齢者に栄養のバランスのとれた食事を提供する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
高齢者と施設の交流事業延べ配食数	食	34,653	24,301	22,410	37,710	28,392

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
配食を受けた高齢者率	%	目標値	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5
		実績値	4.9	3.9	3.4		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） H30年度から利用者負担額が上がり、配食数が減少したため、目標を達成できなかった。 (目標達成度)							(達成度) 61.8%
			21点				
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		目標値					
		実績値					

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	17,105	7,451	7,605	10,112
（事業費）	[円]	14,070	4,956	4,570	7,077
（職員人件費）	[円]	3,035	2,495	3,035	3,035

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） H30年度から利用者負担額が上がり、利用者数及び配食数が減少傾向にある。財政課の事務事業見直しにより、本事業の廃止が決定された。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 現状の見直しを図り、今後のあり方について検討していく必要がある。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者と地域の交流事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者の孤独感の解消及び地域社会との交流を図るため、一人暮らし高齢者等に対し、月1回程度、地区のボランティアの協力により、コミュニティセンター等で行う食事を提供する。食事提供は、市社協に委託している。	
	2年度概要	一人暮らし高齢者が地区のコミュニティセンター等において月に1回程度、ボランティアの協力により食事をを行う。 利用者負担金 180円 実施地域数 29地域
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型

【事業の目的】

対象(何を)	おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者等
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者の孤独感の解消及び地域社会との交流を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
高齢者と地域の交流事業食数	食	23,323	23,149	20,509	24,512	25,344

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	高齢者と地域の交流事業実施箇所	箇所	目標値	31	31	31	32	32
			実績値	30	30	30		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 地区社協会長会総会で本事業の説明を行うなど、各地区での事業の実施を勧めているため、目標を概ね達成できた。 (目標達成度)						(達成度) 96.8%	33点
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度(決算)	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(予算)
トータルコスト	[円]	12,930	13,099	12,228	14,249
(事業費)	[円]	9,895	10,074	9,193	11,214
(職員人件費)	[円]	3,035	3,025	3,035	3,035

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入) 財政状況が厳しい中、財政課の事務事業見直しにより本事業は廃止と決定された。他の配食事業とは目的、効果が異なることに加え、令和 2年度から新規に実施する予定の地区もあることから、廃止は難しい。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入) 今後、本事業の在り方を再確認し、他事業と併せて新たな事業とする等、検討することとする。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	軽度生活援助事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	在宅の一人暮らし高齢者等に対し、生活を支援する者を派遣し、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止することを目的とする。事業は、公益社団法人高松市シルバー人材センターに委託して実施する。
-------	---

2年度概要	シルバー人材センターに委託し、65歳以上の一人暮らし高齢者の軽易な日常生活上の援助を行う。市は利用者の利用時間に基づいて、委託料として、委託先の高松市シルバー人材センターに支払う。
-------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務
--------	----------	---------	--------

【事業の目的】

対象(何を)	65歳以上の一人暮らしの高齢者等
意図(どのような状態にしたいか)	自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止することを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
軽度生活援助事業登録受付件数	件	3,028	2,798	2,640	3,175	3,175

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2	
成果指標	軽度生活援助利用率	%	目標値	33	35	35	37	37	
			実績値	32	30	28.5			
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 入院や入所等による利用停止を厳格に行ったことから、利用率は低下しているものの、目標は概ね達成できた。	(目標達成度)						(達成度)	81.4%
									28点
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度(決算)	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(予算)
トータルコスト	[円]	29,406	27,992	27,374	25,390
(事業費)	[円]	26,371	24,967	24,339	22,355
(職員人件費)	[円]	3,035	3,025	3,035	3,035

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を予防している。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

高齢者が経験と知識を生かし、生きがいを持って就業できるため、シルバー人材センターに委託しているが、今後、総合事業への移行を促進する中で、サービス内容や利用料など、利用者の利便性や負担を考慮しながらの検討が必要である。
--

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者福祉タクシー助成事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	外出することが難しい在宅の高齢者からの申請により、年度内有効のタクシー助成券を15枚（1枚当たり小型車の初乗り運賃相当）を交付することにより、外出支援を図ることを目的とする。		
2年度概要	外出が困難な高齢者の外出支援のためタクシー券を給付する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	


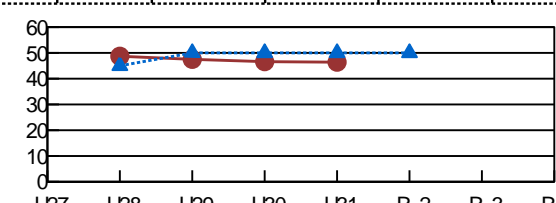
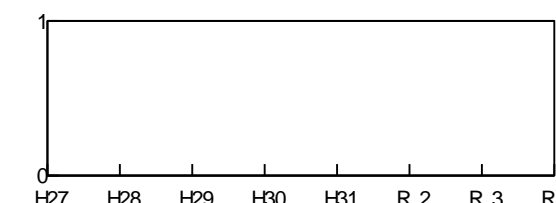
【事業の目的】

対象（何を）	外出することが難しい在宅の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	外出することが難しい在宅の高齢者の外出を支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
タクシー助成券交付者数	人	3,247	3,172	3,162	3,300	3,300

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
タクシー助成券利用率	%	目標値	50	50	50	50	50
		実績値	47.5	46.6	46.4		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 制度利用の周知を図ることで、目標を概ね達成することができた。 （目標達成度） 							（達成度） 92.8% 32点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）							（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[円]	18,149	17,698	17,451	13,976
（事業費）	[円]	14,355	13,917	13,657	10,182
（職員人件費）	[円]	3,794	3,781	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	縮小
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
高齢者の増加に伴い、タクシー助成券の利用については真に必要な対象者に交付すべきものとの考えから、令和2年度から交付対象者を変更することとした。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
今後、引き続き他市の状況や現状を調査し、改善策を検討しながら、タクシー券の交付とは別の方法による、高齢者に対する外出支援も検討する。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	老人クラブ活動助成事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	老人クラブが行う活動事業を補助する。		
2年度概要	多年にわたり老人クラブ活動を積極的に推進したと認められ、高松市長感謝状贈呈該当者推薦基準を満たす者に対して、感謝状等を贈呈する。 老人クラブ活動等事業運営要綱（高齢者地域福祉推進事業）に基づき、高松市内の単位老人クラブが行う活動事業費の一部や単位老人クラブを包括する高松市老人クラブ連合会事務局の運営費の一部を補助する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）


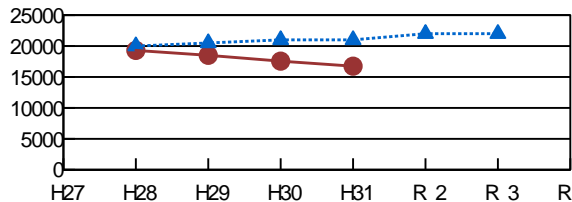
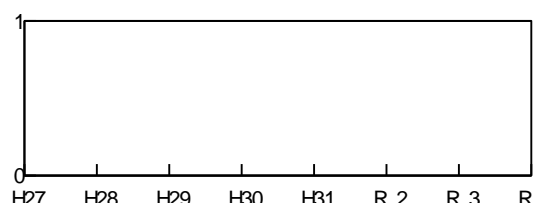
【事業の目的】

対象（何を）	市内居住60歳以上の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者ができる限り自立し、生きがいをもち、安心して暮らせるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
補助金交付件数（単位クラブ）	件	366	348	344	380	380

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
老人クラブ会員数	人	目標値	20,500	21,000	21,000	22,000	22,000
		実績値	18,501	17,560	16,746		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標は概ね達成できたが、会員数は減少しているため、地域の未加入高齢者に対して、老人クラブの活動内容を周知し、より一層、会員数の増加促進を行っていく必要がある。 			（達成度） 79.7% 27点				
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）			（達成度）				

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	37,227	36,094	35,538	35,159
（事業費）	[円]	34,951	33,825	33,262	32,883
（職員人件費）	[円]	2,276	2,269	2,276	2,276

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
スポーツ大会、各種事業を実施することにより、高齢者の心身の健康保持の増進に貢献した。 課題として、会員数が減少傾向にあるため、地域の未加入高齢者に対して、老人クラブの活動内容を周知し、より一層、会員数の増加促進を図る必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
香川県老人クラブ連合会とも連携しながら、老人クラブの活性化に向けた支援に努める。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	シルバー人材センター運営補助事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市内に居住する60歳以上の正会員と学識経験者等の特別会員及び事業主体等の賛助会員の自主運営により、高齢者の就業機会を増大させ、生きがいつくりと社会活動への参加を促進する。		
2年度概要	市内に居住する60歳以上の正会員と学識経験者等の特別会員及び事業主体等の賛助会員の自主運営により、高齢者の就業機会を増大させ、生きがいつくりと社会活動への参加を促進する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務


【事業の目的】

対象(何を)	市内に居住する60歳以上の高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者の就業機会を増大させ、生きがいつくりと社会活動への参加を促進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
補助金交付件数	件	1	1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
成果指標	シルバー人材センター会員数	人	目標値	2,067	1,860	1,860	1,860	1,860
			実績値	1,770	1,716	1,690		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標は概ね達成できたが、会員数が減少していることから、事業内容等の広報活動の支援等により、会員数の増加促進を行っていく必要がある。 							(達成度) 90.9% 31点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[千円]	19,336	19,329	19,336	19,148
(事業費)	[千円]	17,060	17,060	17,060	16,872
(職員人件費)	[千円]	2,276	2,269	2,276	2,276

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
シルバー人材センターについての事業内容を、より広く知ってもらえるよう広報活動を支援する。高齢者の生きがいつくりや就労機会が多様化していることもあり、会員数の減少がみられる。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
引き続き、シルバー人材センターについての事業内容を、より広く知ってもらえるよう広報活動を支援する。また、実績報告等を精査し、補助金の適正執行に努める。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者福祉施策推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施すると共に高齢者福祉サービスについて広く周知する。		
2年度概要	第8期高松市高齢者保健福祉計画を策定し、各種施策を実施すると共に高齢者福祉サービスについて広く周知する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務

【事業の目的】

対象(何を)	65歳以上の高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者が住み慣れた地域社会で、健康で生きがいを持って生活を送ることができるようにする

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
高齢者在宅福祉サービスリーフレット作成部数	部	14,000	13,000	13,000	10,000	10,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
	施策に対する満足度(市民満足度調査)	%	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	23.9	26.9	25.4		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施するとともに高齢者福祉サービスについて広く周知し、目標を達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 101.6%
								35点
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[千円]	29,895	32,283	50,026	47,166
(事業費)	[千円]	18,514	20,940	23,468	20,608
(職員人件費)	[千円]	11,381	11,343	26,558	26,558

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
第7期高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施した。また、民生委員等に各種施策について周知し、協力をお願いしている。令和元年度は、第8期高松市高齢者保健福祉計画策定に向けてのアンケートを実施した。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
令和2年度は、引き続き各種施策を実施し、高齢者福祉サービスについて広く周知するとともに、令和3年度からの第8期保健福祉計画を策定する。また、市政出前ふれあいトークや高齢者のためのあんしんガイドブックの配布、高齢者の居場所づくりなどの様々な機会を活用し、市民への周知も、継続して行う。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者居場所づくり事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者が生きがいを持って地域で元気に暮らせる環境を整備するため、高齢者が地域で気軽に足を運べ、介護予防や健康づくりのほか、ボランティア活動の拠点となる居場所づくりを支援する。			
	地域の多世代が交流する「地域に根ざしたコミュニティスペース」として機能するよう、継続支援を行う予定である。			
2年度概要				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	おおむね65歳以上の高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者等が気軽に集うことができる建物等のスペースを介護予防、健康増進、子どもたちを交えた世代間交流の場、地域のボランティア活動など様々な活動の拠点として整備することで、高齢者の介護予防や健康づくりを推進することを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
居場所設置数	か所	244	241	238		300

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
		主観的健康感の維持向上率	%	目標値	90	93	94	94
			実績値	94.8	95.2	95.5		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 101.6%
	居場所に出かけることで、地域とのつながりができ、また体操等により介護予防の効果が現れ、参加者の健康の低下を防ぐことができたことなどから、目標を達成できた。	(目標達成度)						
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[千円]	22,616	22,578	22,102	24,175
(事業費)	[千円]	12,753	11,991	11,479	13,552
(職員人件費)	[千円]	9,863	10,587	10,623	10,623

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

居場所自体の数は横ばい状態であるが、居場所が地域の拠点となることを目指し、昨年度に引き続き連携事業を実施し、活動内容の充実を図っている。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

随時、新規募集を受け付け、居場所数の増加を図るほか、既に活動している居場所に対して、更なる活動支援を行うため、医師等による医療や口腔ケアの講座等を、希望する居場所で開催するほか、国が提唱する保険事業と介護予防の一体化に向けて、事業の効果的な実施の継続をする。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者見守り事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者が地域で安心して暮らし続けられる環境を整備するため、定期的な高齢者の訪問や配食サービスによる安否確認や、24時間365日介護や日常生活の不安を相談できる専用ダイヤルの開設など、高齢者の見守り事業を推進する。また、徘徊高齢者等の早期発見につなげるため、位置情報探索システム(GPS)や高松市徘徊高齢者等保護ネットワークを活用し、電子メール配信システムの運用により迅速かつ広範囲への情報伝達を行うことで、認知症等が原因で徘徊する高齢者の早期発見・保護に取り組む。				
2年度概要	【見守り事業】 特別あんしん見守り事業、地域で支えあう見守り協定事業、介護相談専用ダイヤル事業を推進し、地域における見守り体制を強化する。 【徘徊高齢者家族支援事業】 GPSを普及し、電子メール配信等により徘徊高齢者の早期発見・保護に努める。				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	65歳以上高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者の在宅における日常生活を支援するとともに、事故の未然防止や早期対応を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
見守り協定締結事業者数	事業者等	76	82	87	90	80
配食見守り事業利用者数	人	703	790	903	1,003	792

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	見守り協定に基づく通報件数	件	目標値	22	26	26	26	26
			実績値	17	35	21		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 協定事業者数は事業者の理解もあり増加した。また、見守りについては、事業者の判断で、緊急の場合は、警察や消防に連絡をとるなどの対応をとったケースもあり、通報件数は減少となり、目標を達成できなかった。	(目標達成度)						(達成度) 80.8%
								28点
成果指標	見守り対象としたハイリスク高齢者のカバー率	%	目標値	47	52	52		52
			実績値	47	20	43		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 地域の事業所協力員が熱心に取り組んでおり、見守り体制は充実しているものの、急速な高齢者増加に伴うハイリスク高齢者の対応が追いつかず、目標を達成できなかった。	(目標達成度)						(達成度) 82.7%
								28点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[円]	73,471	84,632	72,138	76,313
（事業費）	[円]	63,608	74,045	61,515	65,690
（職員人件費）	[円]	9,863	10,587	10,623	10,623

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

特別あんしん見守り事業では、老人介護支援センター等の見守り訪問員により効果的な安否確認や相談等ができています。あんしん通報サービス事業は、入所等による利用者が減少、配食見守り事業者数は1社増えたが、利用者数は減少傾向である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

複合的に事業に取り組むことで、見守り体制の充実に取り組む。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	介護保険課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2326
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	介護相談員派遣等事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	一定の研修を受けた登録相談員を介護サービス事業所等に派遣して、利用者等の話を聞き、相談に応じるなどにより、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、派遣を受けた事業所における介護サービスの質的な向上を図るもの。				
	2年度概要	相談員派遣 17人・36施設 連絡会議の開催(月1回)			
重点取組事業	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)	


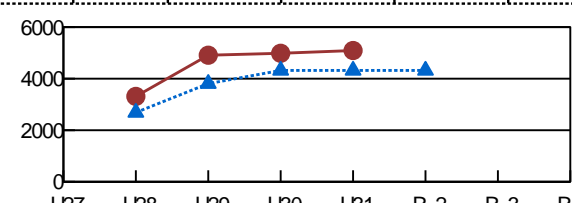
【事業の目的】

対象(何を)	介護相談員の派遣を希望する介護保険サービス事業所
意図(どのような状態にしたいか)	介護サービス利用者の日常的な不平、不満又は疑問に対応して、苦情に至る事態を未然に防止するとともに、派遣を受けた事業所における介護サービスの質的な向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
介護相談員派遣延べ回数	回	598	735	712	540	540

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		介護相談員が受けた相談件数	件	目標値	3,800	4,320	4,320	4,320
			実績値	4,910	4,985	5,092		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 利用者との信頼関係の構築を図ることにより目標を上回っている一方で、派遣希望事業所数は伸び悩んでおり、今後の課題が残る。 							(達成度) 117.9% 35点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度(決算)	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(予算)
トータルコスト	[円]	10,013	10,814	10,243	11,126
(事業費)	[円]	2,426	3,252	2,655	3,538
(職員人件費)	[円]	7,587	7,562	7,588	7,588

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	---	---------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

--

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

減少傾向である介護相談員の人数を確保する必要があるほか、派遣施設の拡充を図るため、実地指導等の機会に合わせてサービス事業者に対し事業の周知啓発を行う必要がある。
--

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域包括支援センター
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	839-2811
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	認知症ケア推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会の実現を目指すため、認知症の人や家族を支援する「認知症地域支援推進員」の配置、容態に応じた相談や利用できる機関名・内容等を具体的な掲載した「認知症ケアパス」の普及、また、認知症の初期から複数の専門職が訪問支援等を行う「認知症初期集中支援チーム」の運営を行う。さらに、成年後見制度利用促進に向けて、相談対応や市民後見人の育成・活動支援といった役割等を担う「中核機関」を新たに設置し、関係機関との地域連携ネットワークの構築を図る。				
2年度概要	認知症初期集中支援チーム運営 認知症初期集中支援チーム検討委員会開催 認知症地域支援推進員配置・研修 認知症普及啓発 認知症カフェ開催 高齢者等の緊急一時保護 成年後見制度中核機関の運営				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）


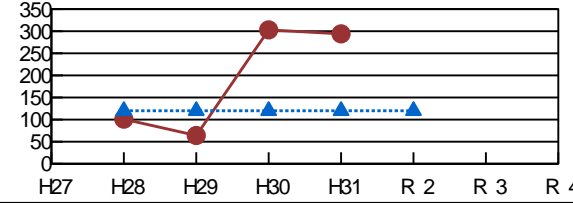

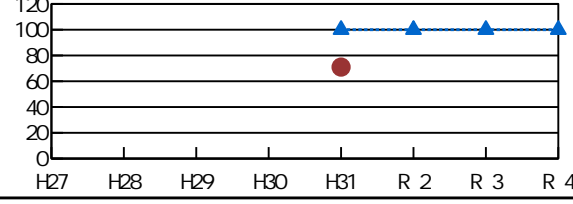
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	認知症やその疑いのある人が、状態に応じて必要な医療や介護等のサービスが受けられるよう、医療・介護等の関係機関へつなぐことで、住み慣れた地域で生活を継続することができる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
認知症地域支援推進員が受けた認知症に関する相談実件数	件	295	619	535		240
認知症初期集中チームによる訪問実件数	件	12	11	7		90

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
相談件数のうち、医療等のサービス支援につながった数	件	目標値	120	120	120	120	120
		実績値	64	303	294		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 認知症地域支援推進員が受けた相談については、既に医療・介護等につながっている方を含め、昨年度と同様に約半数が医療・介護等の連携が必要な相談であった。 							(達成度) 245.0% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか） 認知症初期集中支援チームの支援が医療や介護保険サービス等につながった割合 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 認知症初期集中支援チームによる訪問件数のうち医療や介護保険サービス等につながった割合は71%である。目標値は達成できなかったが、年々対象者への対応が難しいケースが増えており、支援が長期化したり、警戒心が強く介入できず、地域包括支援センターにおいて見守り支援を継続している。 	%	目標値			100	100	100
		実績値			71		
							(達成度) 71.0% 24点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	16,367	17,691	18,700	27,728
（事業費）	[円]	4,986	6,348	7,318	16,346
（職員人件費）	[円]	11,381	11,343	11,382	11,382

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	---	---------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

認知症に関する相談件数は増加している。ただ、認知症初期集中支援チームの支援が医療や介護保険のサービスには100%つながっていない状況である。相談内容が複雑化しているものもあり、認知症地域支援推進員数との連携を密に図るとともに、チーム員のスキルアップを図り、よりよい支援ができるようにしていく必要がある。また、「高齢者の暮らしと介護についてのアンケート」では、市が実施している認知症の取り組みの認知度が低く、広く周知していく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

認知症地域支援推進員数を常に安定して確保し、認知症の相談に対応し、認知症初期集中支援チームとの連携を密に図っていく。認知症になっても安心して暮らせるよう相談窓口・体制の充実や、できるだけ早い段階から医療・介護などサポートなど取組の周知を十分行っていくとともに、質の向上を図る。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域包括支援センター
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	839-2811
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	地域ケア会議推進事業		事業期間	令和 2年度～令和 4年度

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者が介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせることのできる地域包括ケアシステムを実現するため、介護支援専門員からの相談体制を整えるとともに、地域ケア会議関係者のスキルアップを図るための研修会を開催するなど、「地域ケア会議」を実効性のあるものとして、定着・普及する。				
2年度概要	地域ケア会議 年1回 地域ケア小会議 ・地域課題 44地区 ・個別課題				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト 4-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）	

【事業の目的】

対象（何を）	介護保険制度運営協議会委員、高齢者を支援する居宅介護支援事業所の介護支援専門員他関係者 高松市内の居宅介護支援事業所等の介護支援専門員
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者の自立支援を促すために、居宅介護支援事業所等の介護支援専門員のスキルアップを図る。また、地域福祉ネットワーク会議等での地域支援ネットワーク構築を推進する。地域ケア小会議の中で顕在化した地域の課題を、地域ケア会議・地域福祉ネットワーク会議他へ報告し、施策化を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
地域ケア小会議開催回数	回	333	319	274	150	230
居宅介護支援事業所等の介護支援専門員からの相談件数	件	909	1,266	642	600	600

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	地域ケア小会議（地域課題）を開催している地区の割合	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	84.1	86.4	88.6		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 31年度地域ケア小会議：地域課題検討（地域福祉ネットワーク会議）39/44地区に広がった。（前年度比1地区増）なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響に伴い、年度末に地域福祉ネットワーク会議が中止された。	(目標達成度)						(達成度) 88.6%
			31点					
成果指標	地域ケア小会議（個別課題）における検討件数	回	目標値			52		50
			実績値			41		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 個別ケース検討8回、個別ケアプラン検討32回96事例検討。ケアプラン検討では、直営ケアマネから委託先ケアマネに拡大。市の目指す自立支援について共通認識し、ケアマネジメントのスキルアップを図る。	(目標達成度)						(達成度) 78.8%
			27点					

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[円]	15,335	15,772	15,747	16,041
（事業費）	[円]	161	648	571	865
（職員人件費）	[円]	15,174	15,124	15,176	15,176

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	---	--------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

地域ケア会議 2回、地域ケア小会議（プラン検討 32回、ケース検討 8回、サービス調整 1回、地域福祉ネットワーク会議 234回） 新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のために地域福祉ネットワーク会議は一部中止された影響あり。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域ケア会議では、地域ケア小会議で明確になった地域課題を情報発信し政策化に繋げ、地域包括ケアシステム構築の推進を継続する。また、地域ケア小会議（個別課題）では多職種参加型自立支援に向けたケアプラン検討等、3段階のレベル別研修を開催し、自立支援に向けた介護支援専門員のスキルアップを継続して行う。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	瓦町健康ステーション事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市瓦町健康ステーションにおいて、市民の「健康づくり」や「生きがいつくり」の事業を推進し、福祉の増進を図る。		
2年度概要	瓦町FLAG8階IKODE瓦町に設置している高松市瓦町健康ステーションの運営を行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務

【事業の目的】

対象(何を)	高松市に居住する人
意図(どのような状態にしたいか)	市民の健康づくりの場として、誰もが利用しやすい環境を整える。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
瓦町健康ステーションの開館日数	日	358	356	359	359	359

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
	瓦町健康ステーションの年間来場者数	人	目標値	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000
			実績値	20,224	38,252	38,578		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 会議室での健康づくりや介護予防に関する講座の開催、フィットネスルームの利用などで、目標は達成できた。						(達成度) 113.5%	35点
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[千円]	31,298	35,485	35,105	36,931
(事業費)	[千円]	27,504	27,923	27,517	29,343
(職員人件費)	[千円]	3,794	7,562	7,588	7,588

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

健康ステーション講座では、軽い運動を行う講座だけでなく、脳トレ講座など新たな取組を始め、好評を得た。脳トレ講座は、機器の関係で各回30人程度での少人数の実施になったため、受講できる人数を増員できるよう改善が必要である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

今後も、公共交通機関の結節点の機能を生かしながら、健康づくりのための講座などを充実させていくことで、利用者の増加を図る。